

「男らしい」「女らしい」という性別へのアンコンシャスバイアスはルッキズムという問題に影響を与えており、現在10代～20代の若者にとって大きな問題となっているそうです。

例えば・・・

女性＝「か弱かわいい」「痩せていないと美しくない」という世間の固定的な考えからダイエットによる摂食障害が大きな問題となっているそうです。

講師は・・・

『自分らしく（≠自分勝手）生きる権利がわたしたちにはある。コンプレックスの種を植え付けられそうになったときは今一度「自分の好きなところ」「見た目にとらわれない、人との付き合い方」を振り返れるように』と授業を結んでいました。

## R4年度南国市パートナーシップ登録制度導入による職員研修

最近、LGBTやジェンダーという言葉を目にすることがありませんか？

南国市では、今年度11月から開始したパートナーシップ登録制度(性的少数者(LGBTQ+)の支援の一環)について、全職員対象の研修を12月に実施しました。

講師にNPO団体 レインボー高知副代表 宮本 寛 氏をお招きし、テーマは「LGBTQ+に対する正確な知識を持ち偏見や差別を無くそう～パートナーシップ登録制度について～」として性的少数者の方への知識を深めました。



### 研修内容

#### ●身体の性(生物学的性)は男と女のみ

#### ●心の性(性自認)は医学的に複数あることが分かっている→『性的少数者の方は現在、10人に1人は存在していると言われていました。』

しかし、正しく理解されておらず、差別や偏見(ホモ、レズ、オカマという認識など)に真剣に悩み、生きづらさを感じている人がいるのが現状です。未成年期から自尊心を持てず自死に至る思いや行動が認められているのです。

当事者は理解されることを望んでいます。

なぜなら性的少数者は当事者の趣味・嗜好の問題ではなく先天的な問題であり、本人の意思によって左右されないものであるからです。

※世界33の国や地域で認められている同性婚が日本では認められていませんが、R4年11月現在、242自治体がパートナーシップ制度を導入しています。

#### 考えてみてください

味、音楽、スポーツ、色などそれぞれ好きなものはみんな違いますね。心の性(性自認)もそれと同じなのです。医学的にも昔は分かっていたことが色々分かってきています。自分らしく生きられない、自身を受け入れてもらえないのはとてもつらいですね。

南国市は、パートナーシップ登録制度により性的少数者の方への理解を深めるための啓発や支援に尽力し、誰もが住みやすいまちを目指していきます。

## 南国市男女共同参画推進出前教室

南国市では、男女に関わらず、多様な生き方、価値観があることを知り、他者との相違を認め受容することの重要性に気づききっかけづくりとして市内の小中学校に出向き、出前教室を毎年実施しています。授業を受けた児童生徒は、感じたこと、気づいたことなどたくさんの意見を出し合っていました。

今年度は十市小学校と香長中学校の2校で開催しました。

講師は2校とも高知大学講師 佐藤 洋子 氏と同大学の学生さんたちです。

### ●十市小学校(人権参観日)

テーマは「女らしく男らしくを決めつけない自分らしく生きられる権利」として自分らしくいることの大切さを学びました。

#### 【児童の感想】

- ・職業についてなど男は～、女は～と決めつけるのは良くなく、自分の個性で自分らしく生きていきたいです。
  - ・性差のことをあまり考えたことはなかったけれど、今回の学習で性差のことについてよく考えるようになりました。日常でも「女らしく」「男らしく」と決めつけるようなことを言うてしまったりしていました。
- でも、自分は自分で、人は人だから、そのようなことを言うても相手が少しいやな気持ちになるだけだと思いました。だから、これからは絶対言わないようにします。



5年生とその保護者(6月24日)

### ●香長中学校

テーマは「男らしさ」「女らしさ」と「自分らしさ」-アンコンシャスバイアスとルッキズム-として、固定的なイメージや考えにとらわれない生き方や働き方について学びました。

#### 【生徒の感想】

- ・男らしさや女らしさの概念があるせいで苦しんでいる人達がいることはTVやネットで見たことがあるが、他人事と思っていたけど、これからは自分の身近なこととして考えたい。
- ・男らしさや女らしさと決めつけられて自分がしたいようにできないのは嫌だと思った。
- ・「～くせに」などの言動に気を付けて、一人一人の気持ちを尊重していきたい。



2年生(11月25日)

#### アンコンシャスバイアス

無意識のうちに“これはこうだ”と決めつけることで無意識に作り上げられる偏った見方です。

#### ルッキズム

容姿や身体的特徴などで人を判断すること。また、それに基づく偏見や差別のことです。